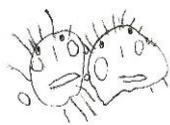


いっぽ だより



2023年度 No. 6

2023年9月29日

九月も彼岸を過ぎると猛暑続きだったな夏もようやく終わりを告げ過ごしやすい季節になってきた今日この頃、皆さん如何お過ごしでしょうか。

いっぽの畑の収穫もあと途別のさつま芋と大根そしてぶどうを残すのみとなりました。今年も長崎先生にはいっぽと途別の畑の管理をして頂きました。お陰で子どもたちと一緒に収穫の喜びを味わうことが出来ました、ありがとうございました。

私ごとですが娘の所に行くため少し家を空けるので花が枯れては困ると思い鉢の土も乾かないようにと移動して出かけた、帰って来てびっくり見ると花と葉の茎が異常に伸びているのに驚きました。環境を少し変えることで植物がこんなに変化するとは?これは植物でも動物(人間)でも同じなんだなと思いました、同じものでも環境や接し方の違いで大きく変わるものです。

子どもを叱る時、「次頑張ろうね」と励ました方が原因を追及するよりも大人になってからの自立心や計画実行能力に良い影響を与えるようです。失敗した原因を追及ばかりしていると良い結果は生まれません。

それに対して子どもの褒め方として「頑張ったね」と努力を評価する方が、ただ褒美を与えるより将来につながります。植物や動物そして人は接し方や言い方ひとつで大きく変わります。

言葉の掛け方は本当に重要です。いっぽでも常に「ゆっくり」「じっくり」「ていねいに」と、ささやき保育を基本に取り組んでいきます。

怪我や事故の防止のため、屋外活動での遊具や危険な場所はないか点検を行っています。子どもの送迎も事故を起こさない、遭わないを事を念頭に置きながら安全運転に努めています。

代表 石橋 和久



10月のスケジュール

日時	行事
10月 7日 (土)	秋のピクニック (予定)
10月16日 (月)	定例会議
10月20日 (金)	あっちこっち紙芝居
10月21日 (土)	焼き芋パーティー (予定)

厚生労働省より推奨されておりますペアレントトレーニングを、はじめのいっぽで行うことが出来るようになりました。月に1回2時間程度を7回参加できる方、ご興味のある方は、山本までLINE お願い致します。

小中学生編

～じっくりとチャレンジ～



今回のいっぼだよりは、前回の夏休みの集団行事とは違い、日ごろの活動の中、子どもたち一人ひとりの、一歩いっぼが良く目につく9月でした。

綱渡りでは、やってみたくはあったけど踏み出す勇気が出てこない！ 何度も何度もロープに手をかけるのだけれど……。踏み出すきっかけは、ロープの張り直しでした。ロープを張る仕組みがわかると、これだったら大丈夫と渡り始めました。勇気とは無謀に挑戦するのではなく、自分で納得した上に成り立つものなのだ子どもから教えられました。

ドッジボールでは、友だちから誘われドキドキしながらはじめ、気がついたら夢中になって楽しんでいたり、野球ではゲームに参加する前の練習を友だち同士で何度も繰り返して数日後、自分から勇気を出して参加しにいたり、少しずつ前に進んでいく姿が見られるようになりました。

またコマまわしやけん玉と言った手先の使い方がとても難しい事にもチャレンジし、子ども同士で根気よく教え合う姿が見られ、なんとも微笑ましい活動が繰り返されています。フラフープ竹馬も最初は全く回すこと乗る事が出来ませんでした。コツコツと積み重ねた成果が素晴らしい成果を出しています。みんなで、はじめて楽しんだ夏休みから、じっくりとマイペースに取り組む秋へと、“はじめのいっぼ”は移り代わりつつあります。



途別炊事遠足



途別での炊事遠足は、子どもたちも慣れたもので食事が出来るまでの準備と遊びの時間をスタッフが指示しなくても自分たちで考えて配分しています。どんな準備をして、どこに設置して、お昼ごはんまでの時間を逆算して子どもたち自身で動いている姿は頼もしい限りです。遊びに夢中の子もいますが、先輩たちの後ろ姿を見て、いつかは出来ると思っていて待ちます。

ありがとうございます



この獅子頭は、故わか子先生のお友だちで古くからいっぼの事を見守ってくれている富山県の斎藤さんが作ってくれたものです。北海道を車で回る旅の計画の中で、いっぼを立ち寄り場所を選んでくれ、たくさんのおみやげをいただきました。祭りやもちつき大会、新年会など獅子頭を使う行事はいっぼに沢山あります。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

雨の日の散策

雨の日も外へ散策に出かけます。いつものように街路樹の葉っぱに着いた雨のしずくをさしている傘に降らせます。どんな音がするのかな？トトロほどの体重がないので「ドン！」のジャンプはできませんが・・・今度、子どもたちに内緒で木に登り「ドン！」と映画のあの音「ザー——！」を聞かせたいと思っています。

大通りの散策では 印刷屋さんやお肉屋さんを見学です。スタッフには懐かしい商店の香りがしましたが子どもたちには、どのように映ったのでしょうか？



楽しい石拾い



子どもたちが遊ぶ広場の石拾いを、みんなで楽しみました。天秤ばかりにバケツを下げ、青、赤チームに分かれ「よーいドン！」結果はゆっくりとてをはなすと青チームのバケツが地面に着き勝利！

その後、支点をどのように動かすと赤チームのバケツが地面に着くのかみんなで実験してみました。普段、目にしたり体感することがほとんどないこんな実験をいざというときに思い出し、役立ててほしいなあと思うのでした。

木道の修繕

弥生から結へ続く木道が荒れ始めて来たので張り替えることとなりました。みんなで協力して、はがし始めると腐った木の中にはいろんな幼虫が眠っていました。はがす人、幼虫を探す人、なんでも楽しく取り組むことが大切なので子どものペースをスタッフも見守って、一緒に虫探しに参加です。



仲間が増えました

いっばの近所に住む職員が休みの日、犬の散歩コースに入っているいっば広場の横を通ると、子どもたちから「マルス（犬の名前）あそぼー！」と声がかかります。最近、ドッジボールを一緒にやったり、鬼ごっこに参加したりと人気者です。犬が苦手な子もいますのでスタッフも配慮しながら見守っていますが、いつの間にか一緒に遊び始めている子も出ています。



ひつじ組 編 (未就学児)

～動物とのふれあい～

帯広動物園に珍しい動物を見に行ったり、農業高校の馬に会いにいたり、動物との触れ合いの中で、自分とは違う種類の生き物をいとおいと感じたり、ちょっと怖いなど思いを経験することで、他者との距離感が自然に身につくようになりますとも言われております。



～石ブームがありました～

「リンゴの形ににてる～」 「こっちはおばけににてる～」 などなど、石一つだけで、様々な思考が飛び交って想像力が高まります。マジックで絵を描いたり、色塗りをすれば、もっとそれらしく見えます。

「いらっしやいませ～」とお店屋さんらしく、やり取りを楽しむ遊びに発展することもでき、改めて、自然物は子供の成長にとって、宝物だな～と感じたひと時でした。

子どもの興味関心を引き出して発展させることができるいっぽの職員の団結力も自慢です。



～実りの秋～

暑かった夏のため、植物の成長具合に影響があるのかなと心配しておりましたが、自然は強いですね。立派などんぐりがたくさん！



途別の畑でも大量のブドウが収穫を迎えようとしております。不思議ですが、いっぽ広場のブドウは今年の実はずでしたが、途別のブドウは農園さながらに実っております。



～秋の制作は～

散策に出かけた先で見つけた“きのこ”。「そうだ！いっぽに帰って、きのこを作ろう！」と子どもの意欲を引き出すと、あっという間に集中し取り組むことが出来ました。

同じように途別のブドウ収穫の時も同様でした。制作や描画活動は、めいっぱい活動をした後に行くと、いい絵が描けたり、集中して制作に取り組むことが出来るようになるんです。静と動のメリハリのある活動が大切という事ですね。

